ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名　　株式会社プロネクサス　　上場取引所　東
コード番号　　7893　　ＵＲＬ　http://www.pronexus.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）上野 剛史
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員社長室長　　（氏名）大和田 雅博　　ＴＥＬ　03-5777-3111

四半期報告書提出予定日　　平成25年11月14日　　配当支払開始予定日　平成25年12月５日
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	11,356	7.1	2,114	5.9	2,144	7.7	1,343	10.0
25年３月期第２四半期	10,601	△1.3	1,996	△3.2	1,990	△2.5	1,221	3.5

（注）包括利益　26年３月期第２四半期　1,456百万円（21.1%）　25年３月期第２四半期　1,202百万円（0.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	41.29	―
25年３月期第２四半期	36.10	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	28,631	22,186	77.0
25年３月期	27,812	21,758	77.8

（参考）自己資本　26年３月期第２四半期　22,054百万円　25年３月期　21,633百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	9.00	―	9.00	18.00
26年３月期	―	9.00			
26年３月期（予想）			―	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	2.6	2,000	9.5	2,000	9.8	1,250	7.1	38.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	36,327,700株	25年３月期	37,327,700株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	3,883,561株	25年３月期	3,886,061株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	32,526,952株	25年３月期２Ｑ	33,823,475株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。また、第２四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配布した資料、説明内容（映像及び音声）を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）経営成績に関する説明 …… P. 2
（２）財政状態に関する説明 …… P. 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P. 4
２．四半期連結財務諸表 …… P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P. 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… P. 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… P. 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P. 10
（継続企業の前提に関する注記） …… P. 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P. 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

① わが国経済の状況

当第２四半期連結累計期間（以下、当第２四半期）におけるわが国経済は、為替レートが引き続き円安水準で推移したことや、政府の各種経済対策や金融緩和策等に対する期待感等を背景に、企業業績の向上、設備投資の増加など、様々な局面で回復基調が続きました。当社事業と関係が深い証券市場においても、日経平均株価が13,000円台から14,000円台で推移し、ＩＰＯ社数の増加、投資信託やＪ－ＲＥＩＴ市場の活況など、比較的順調に推移しました。

② 業績の概況

当第２四半期は、上場会社ディスクロージャー関連の売上高が前年同期比1.8％の減少となりましたが、上場会社ＩＲ関連、金融商品ディスクロージャー関連、データベース関連の売上高は、それぞれ前年同期比10.5％、21.3％、98.4％の増加となりました。この結果、当第２四半期の連結売上高は、前年同期比755百万円増（前年同期比7.1％増）の11,356百万円となり、過去７年間で最も高い増収率となりました。なお、当第２四半期連結会計期間（７－９月期）の前年同期比は、304百万円の増加となっております。

利益面では、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は前年同期比117百万円増（同5.9％増）の2,114百万円となりました。経常利益は前年同期比154百万円増（同7.7％増）の2,144百万円となりました。四半期純利益は前年同期比122百万円増（同10.0％増）の1,343百万円となりました。

１）製品別の販売動向

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

国内上場会社数の減少幅は前年同期比約10社減まで縮小したものの、競争激化の影響等もあって、株主総会招集通知および決算関連書類の売上が減少しました。一方、開示業務の効率化を支援するシステムサービスや、証券市況の回復に伴うファイナンス関連の売上が増加しましたが、株主総会招集通知および決算関連書類の減少をカバーするに至らず、上場会社ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比104百万円減（同1.8％減）の5,544百万円となりました。

＜上場会社ＩＲ関連等＞

国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、株主向け年次報告書（株主通信）の売上が減少しました。一方、証券市況が回復するなかＩＲ営業体制の強化が奏功し、Ｗｅｂ－ＩＲサービス、英文ＩＲツール、株主総会ビジュアルツール等の様々なＩＲ関連商品や広告関連の売上が増加しました。この結果、上場会社ＩＲ関連等の売上高は前年同期比274百万円増（同10.5％増）の2,897百万円となりました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

証券市況の回復を受け国内投資信託の販売が好調に推移しており、これに伴い関連開示書類や販売用資料の受注が増加しました。また、当分野の営業体制強化とシステムサービスの拡充により、受注サービスの領域が拡大しつつあります。加えて、昨年来市場の活性化が続くＪ-ＲＥＩＴ市場においても、当第２四半期でＩＰＯが２件あり、ファイナンスも増加しました。これに伴う関連製品の売上は前期を上回るピッチで増加しています。また、外国投資信託や外国債券関連の売上も増加しました。この結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比471百万円増（同21.3％増）の2,684百万円となりました。

＜データベース関連＞

株式会社日立ハイテクノロジーズからの企業財務情報データベース事業の承継（本年１月より提供開始）により顧客数が増加するとともに、事業承継に伴うサービス拡充が寄与し新たな顧客の開拓も進展しました。これらによる売上の大幅な増加に、少額ながら台湾市場の売上増加を加え、データベース関連の売上高は、前年同期比114百万円増（同98.4％増）の229百万円となりました。

（製品区分別売上）

区分	前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）		当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）		増減（△印減）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	増減率（%）
上場会社ディスクロージャー関連	5,648,886	53.3	5,544,729	48.8	△104,157	△1.8
上場会社ＩＲ関連等	2,623,650	24.7	2,897,919	25.5	274,268	10.5
金融商品ディスクロージャー関連	2,213,272	20.9	2,684,400	23.7	471,128	21.3
データベース関連	115,856	1.1	229,860	2.0	114,003	98.4
合計	10,601,667	100.0	11,356,910	100.0	755,242	7.1

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

２）利益の概況

当第２四半期は、過去７年間で最も高い増収率となりましたが、投資信託、Ｊ-ＲＥＩＴ、ファイナンス関連製品等の受注急増への対応および、原価率の高い広告関連の受注増加等により外注加工費が増加しました。また、2014年１月から本格稼働が予定されている金融庁の次世代ＥＤＩＮＥＴに対応するための総合運転試験実施に伴う参加企業向けテストデータ作成費や関連コストが加わりました。この結果、売上原価率は前年同期比で1.2ポイント上昇し55.7%となりました。売上高の増加と売上原価率の上昇とにより、売上総利益は前年同期比202百万円増（同4.2%増）の5,028百万円となりました。また、次世代ＥＤＩＮＥＴ対応システムの開発に伴い、本稼働前に先行して発生する運用コストの販管費計上等を主因として、販管費が84百万円増加しました。この結果、営業利益は前年同期比117百万円増（同5.9%増）の2,114百万円となりました。

営業外収益50百万円と営業外費用20百万円を加減し、経常利益は前年同期比154百万円増（同7.7%増）の2,144百万円となりました。税金等調整前四半期純利益は、日本財務翻訳株式会社の100%子会社化に伴う段階取得に係る差益54百万円を加算し、前年同期比208百万円増（同10.5%増）の2,198百万円となりました。一方、四半期純利益は、前年同期比122百万円増（同10.0%増）の1,343百万円となりました。

③ 第２四半期の季節性

当社グループの売上の約75%を占める上場会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が３月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第１四半期連結会計期間（４－６月期）に集中します。このため、下表のとおり第１四半期連結会計期間の売上が４割を超え、第２四半期連結会計期間（７－９月期）は２割以下にとどまります。

（参考）平成25年３月期

	第１四半期（４－６月期）	第２四半期（７－９月期）	第３四半期（10－12月期）	第４四半期（１－３月期）	年度計
売上高　（百万円）	7,464	3,137	3,899	3,531	18,031
構成比　（%）	41.4	17.4	21.6	19.6	100.0

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末（以下、当第２四半期末）における資産合計は、前連結会計年度末に比べ819百万円増加し28,631百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加347百万円、無形固定資産の増加423百万円、投資有価証券の増加256百万円及び受取手形及び売掛金の減少184百万円等です。

当第２四半期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し6,445百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加148百万円、前受収益（流動負債「その他」）の増加398百万円及び長期借入金の減少187百万円等です。

当第２四半期末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ428百万円増加し22,186百万円となりました。主な要因は、四半期純利益1,343百万円計上による増加と剰余金の配当300百万円及び自己株式の取得749百万円による減少等です。この結果、自己資本比率は、77.0%となりました。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第２四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,497百万円増加し、13,643百万円となりました。

当第２四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2,402百万円（前年同期は2,725百万円の獲得）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2,198百万円に対し、非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入3,136百万円、法人税等の支払額743百万円及び利息及び配当金の受取額17百万円等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は298百万円（前年同期は151百万円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入700百万円、有価証券の売却による収入400百万円等であり、支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出554百万円、投資有価証券の取得による支出104百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出88百万円等です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,203百万円（前年同期は1,348百万円の使用）となりました。収入は、短期借入れによる収入100百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出187百万円、自己株式の取得による支出749百万円及び配当金の支払額300百万円等です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

＜当期の見通し＞

平成25年５月７日公表の平成26年３月期通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,007,547	9,354,924
受取手形及び売掛金	1,678,218	1,494,192
有価証券	4,540,196	4,588,595
仕掛品	229,214	232,686
原材料及び貯蔵品	5,704	5,041
その他	447,693	480,012
貸倒引当金	△2,492	△2,143
流動資産合計	15,906,082	16,153,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,682,881	1,630,662
機械装置及び運搬具（純額）	529,824	473,119
土地	3,887,672	3,887,672
その他（純額）	155,460	136,345
有形固定資産合計	6,255,838	6,127,800
無形固定資産	1,893,339	2,316,943
投資その他の資産		
投資有価証券	2,644,311	2,901,031
その他	1,147,082	1,169,453
貸倒引当金	△34,087	△36,757
投資その他の資産合計	3,757,305	4,033,727
固定資産合計	11,906,484	12,478,470
資産合計	27,812,566	28,631,780

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	449,665	384,338
短期借入金	485,000	535,000
未払法人税等	762,380	911,357
賞与引当金	450,256	477,447
その他	1,167,322	1,517,511
流動負債合計	3,314,625	3,825,655
固定負債		
長期借入金	375,000	187,500
退職給付引当金	915,142	954,281
役員退職慰労引当金	26,692	29,842
その他	1,423,096	1,448,180
固定負債合計	2,739,931	2,619,803
負債合計	6,054,556	6,445,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,058,650	3,058,650
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
利益剰余金	16,159,098	16,548,873
自己株式	△2,548,792	△2,623,251
株主資本合計	21,352,552	21,667,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,939	386,136
その他の包括利益累計額合計	280,939	386,136
少数株主持分	124,518	132,315
純資産合計	21,758,010	22,186,321
負債純資産合計	27,812,566	28,631,780

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	10,601,667	11,356,910
売上原価	5,775,717	6,328,468
売上総利益	4,825,949	5,028,442
販売費及び一般管理費	2,829,375	2,913,920
営業利益	1,996,573	2,114,521
営業外収益		
受取利息	5,332	4,322
受取配当金	8,855	9,482
設備賃貸料	18,067	18,066
その他	17,652	18,301
営業外収益合計	49,907	50,173
営業外費用		
支払利息	10,534	6,817
投資事業組合運用損	31,959	6,424
その他	13,659	7,089
営業外費用合計	56,153	20,331
経常利益	1,990,327	2,144,363
特別利益		
段階取得に係る差益	－	54,000
特別利益合計	－	54,000
税金等調整前四半期純利益	1,990,327	2,198,363
法人税、住民税及び事業税	780,211	886,857
法人税等調整額	△22,191	△39,472
法人税等合計	758,019	847,384
少数株主損益調整前四半期純利益	1,232,307	1,350,978
少数株主利益	11,241	7,797
四半期純利益	1,221,066	1,343,181

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,232,307	1,350,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,196	105,197
その他の包括利益合計	△30,196	105,197
四半期包括利益	1,202,111	1,456,176
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,190,870	1,448,379
少数株主に係る四半期包括利益	11,241	7,797

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,990,327	2,198,363
減価償却費	432,518	385,134
のれん償却額	－	14,610
引当金の増減額（△は減少）	25,079	70,156
受取利息及び受取配当金	△14,187	△13,805
支払利息	10,534	6,817
段階取得に係る差損益（△は益）	－	△54,000
売上債権の増減額（△は増加）	385,497	593,345
たな卸資産の増減額（△は増加）	28,857	1,499
仕入債務の増減額（△は減少）	△71,498	△75,490
その他	△64,840	9,713
小計	2,722,288	3,136,344
利息及び配当金の受取額	19,406	17,631
利息の支払額	△11,501	△7,740
法人税等の支払額	△20,408	△743,642
法人税等の還付額	15,894	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,725,678	2,402,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△700,000	－
定期預金の払戻による収入	700,000	700,000
有価証券の取得による支出	△404,704	－
有価証券の売却による収入	1,000,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△74,157	△31,196
無形固定資産の取得による支出	△350,581	△554,723
投資有価証券の取得による支出	△52,710	△104,110
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△88,439
投資事業組合への支出	△25,000	△50,000
その他	59,000	27,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	151,846	298,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△187,500	△187,500
自己株式の取得による支出	△927,059	△749,934
配当金の支払額	△317,692	△300,718
その他	△16,092	△15,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,348,345	△1,203,543
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,529,180	1,497,948
現金及び現金同等物の期首残高	11,518,635	12,145,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,047,815	13,643,520

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

なお、当社は、平成25年３月22日開催の取締役会決議に基づき、第１四半期連結会計期間において普通株式997,500株、749,934千円の自己株式を取得しております。

また、平成25年５月17日開催の取締役会決議に基づき、平成25年５月31日付で普通株式1,000,000株の自己株式を消却しております。この結果、自己株式及び利益剰余金が675,475千円減少しております。